

報告

市民企画講座

話し合いの見える化

繋がりがいきいき！チームファシリテーション

と き：11/11・12/16・1/20(日)

と ころ：男女平等推進センター

企画：ふあん・ふあしい・Café

講師：岸 靖久さん(高岡市男女平等推進センター活動登録団体「ふあん・ふあしい・Café」代表、(一財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ)

内容：第1回「場づくりと問いかけで繋がりを作る」
第2回「アイデアを引き出し組み合わせで繋げる」
第3回「気持ちを繋げて行動を引き出す」

話し合いや会議を活発に進めるためには、話し合いのプロセスを相互に助け合いながら、参加者の多様な思いを共有し、次の行動へ繋げていくことが大切です。

今回の講座では全3回にわたってグラフィックに視点を置き、話し合いを「見える化」するために必要な技や進め方のコツなどについて学びました。

参加者からは「感情を描くコツを知れて良かった」「多様な考え方の尊重、またそれらの意見を実際に出し合うことで得るものが多い講座だった」「岸先生ファシリテーターとしての態度(笑顔、話しかける態度、質問に答える態度)なども参考になった」などの意見があり、職場や地域などで話し合いをする際にも活かせる学びの多い講座となりました。



報告

粋(いき)メンプロジェクト事業 2018

父子(祖父と孫)でクッキング

第1回：12/8(土) 戸出コミュニティセンター

第2回：1/26(土) 伏木コミュニティセンター

今年度は戸出地区と伏木地区の2会場で料理教室を開催し、料理を通じて男性の積極的な家事・子育てへの参加を働きかけました。

普段はあまり子ども(孫)と一緒に食事を作ることがない父(祖父)もこの日ばかりは楽しそうに調理をする姿が見られました。食生活改善推進員さんからは「子どもの健康を守る5つの力」というテーマでお話いただき、子どもの時から健全で正しい食習慣や豊かな知識、知恵を身につけることが自分の健康を守る力となることを学びました。

食後は父子で協力し、食器や調理器具を洗いふきんで拭いて片付けまできちんと行いました。

参加者からは「子どもたちと楽しく取り組めて良かった」「家でも作ってみたい」などの意見があり、子どもと一緒に家事に参加するきっかけや意識づけができました。

★粋(いき)メンプロジェクトとは・・・

男女平等・共同参画に積極的な男性は「粋」で「カッコいい」ものであり、好ましいモデルとして育成していく必要があるとの考えに基づき、子育て世代からプラチナ世代までの幅広い男性を対象に家事、育児、介護、仕事と生活の調和をテーマとした講座などの実施に取り組んでいます。



メニュー
ととまる風ライスバーガー
貝だくさんみそ汁
フルーツポンチ

案内

センター企画講座

いろいろな性とLGBTを知ろう～性はグラデーション～

誰もが「自分らしい自分」でいきいきと暮らすために性的マイノリティについての理解を深めましょう。

日 時：2月23日(土) 13:30～15:30

場 所：生涯学習センター501 研修室

受講料：無料

講 師：林 夏生さん(富山大学人文学部准教授、ダイバーシティラウンジ富山代表)
レインボーハート富山(高岡市男女平等推進センター活動登録団体)

【申込・問合せ】高岡市男女平等推進センター

電話(20-1810)、FAX(20-1815)

メール(gec@city.takaoka.lg.jp)

託児(無料)
満1歳以上就学前のお子さん
託児締切：2月8日(金)



案内

平成31年度 高岡市男女平等推進センター活動登録団体

《新規活動登録団体募集》

センターを団体・グループの拠点として活用しませんか。

登録団体は交流スペースや活動用ロッカーの利用が無料となるほか、他の団体・グループとの交流もしやすくなります。※登録は年度毎に更新が必要です。

登録要件

男女平等・共同参画の推進に関する活動をしている(しようとする)団体・グループで、以下の要件を満たしていること。

1. 目的・計画を持ち、センターと連携を図りながら事業を実施する。
2. 5人以上の構成員を有している。
3. 代表者が市内在住か通勤・通学している。
4. 営利を目的とする団体ではない。

《平成30年度活動登録団体のみなさんへ 再登録のご案内》

平成30年度の登録有効期限は平成31年3月31日(日)までです。

引き続き登録を希望される場合は、書類に必要事項を記入の上、**2月28日(木)まで**センターに提出してください。

※提出期間が過ぎると、登録更新ができない場合がありますのでご注意ください。

詳しくは男女平等推進センターへお問い合わせください。



LGBTのパレードで目にする事の多い「レインボーフラッグ」ですが、この旗にはどのような意味や思いが込められているのでしょうか。

アメリカ・カリフォルニア州でギルバート・ベイカーが手染めで制作し、1978年にサンフランシスコで行われた同性愛者のパレードで使用されたのが始まりです。最初は8色でしたが、当時の制作上の都合等で、現在は赤「生命」、橙「癒し」、黄「太陽」、緑「自然」、青「平穏/調和」、紫「精神」の意味を込めた6色が性の多様性の象徴の一つとなっています。